

2004年(平成16年) 6月1日火曜日(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別) 発行所/天台宗出版室 発行人/出版室長 工藤 秀和 〒520-0113 大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内 電話 077-579-0022(代) Eメール/T-Press@tendai.or.jp

一隅を照らす運動推進会報

(一隅推進会員) 年度会費(2500円)中に会報(天台ジャーナル)購読料を含む。

極微 ごくみ

産業廃棄物を、出来るだけリサイクルしようという考えが広まってきた。環境と資源の保護を考えれば当然のことだが、手放して喜べる話ばかりではない。外国には、工業製品廃棄物を処理する工場が増えているという。日本では採算が合わないが、賃

金の安い国では立派に成り立つという。そこでも処分出来ない物は放置され、環境汚染を引き起こしていると聞いた。汚いものにフタというか、下流に垂れ流しのような気がする。一國環境浄化主義ではなく、地球全体の環境保全を視野に入れていかなければならない。

開宗千二百年慶讃大法会 檀信徒総授戒に希望者相次ぐ

法悦あふれる会場



天台宗開宗千二百年慶讃大法会の中心である総授戒運動「あなたの中の仏に会いに」が、日を追う毎に大きな盛り上がりを見せている。各教区で予定されていた授戒者数を大幅に上回り、中には当初予定の三倍近い希望者が殺到し、急遽会場を増やすケースも。大法会事務局は「各教区の熱い意気込みを感じる。今年ばかりでなく、来年度についても着実に申請を頂き、誠に有り難い」と語る。

また、五月二十三日に授戒会の行われた山形教区では、当初二百人で一座の予定が、六百二十人と三倍に増え、予定会場の寶光院(工藤秀和住職)だけでは対応出来なかつたために、柏山寺(富樫和廣住職)と二会場に分けて修された。同教区では、各寺院へ、希望者の自主参加を呼びかける方式をとったが、昭和六十一年に立石寺で授戒会(ご親教)が行われて以来十八年ぶりということもあつ

家族全員参加のケースも

て、大幅な希望者増に結びついたりも言える。工藤住職は「檀家さんの熱い希望もさることながら、信

者さんからの参加希望が多く、当日ぎりぎりまで予想がつきにくかった。嬉しい誤算です」と語る。

きるために、授戒会を「仏性感得の場」と位置づけており、戒を授かった人々が中心となつて、発心会に進むことも期待される。

め、精進を誓う姿がみられる。各寺院では、これらの戒弟と日々接することにより、住職と戒弟が信仰を中心としたより深い関係に進むことがで

五月二十九日の南総教区では四百七十人(当初予定四百人)、六月十日の信越教区では四百三十三人(当初予定三百人)、同十六日の神奈川教区では七百四十七人(当初予定七百七人)と、いずれも大幅な希望者の増加をみている。

素晴らしき言葉たち Wonderful Words

先を争うから小道はますますせまくなる。人に一歩おくれれば、それだけ道は広くなる。こつてりした滋味は永続きしない。一分の淡泊さがあれば、それだけ滋味も永続する。

『菜根譚入門』

岡本隆三著 徳間書店刊

執着を断つのは難しいものです。一旦、手に入れたものは、カネや物質でも、地位、名誉などの肩書きでも、捨て去ることができないのが、人間です。人間の悩みもここから派生し、ときに犯罪にまでいたりします。物欲から発した詐欺、強盗、殺人、そして地位、名誉を護るための偽証、隠蔽工作など、日々のニュースは、ここに発生するといつてもいいくらいです。

授戒を受けた人々の中には、感極まって泣き出す人もあり「これまでと違う自分であることを確信でき、有り難い」と「わたしの中の仏」に出会った感動を素直に受けと

時、星を見て宇宙を感じたり、午後のお茶にホッとしたりしながら生きてゆく、それもまた素敵な人生だと思えます。

授戒は、自分自身の中にある仏性に気づく場である(兵庫・正福寺)。写真は、吉川廣隆通信員提供



花想風言

夏つばきの花をシヤラ(沙羅)とよぶ。比叡山・浄土院のご廟前に高さ五メートルを超える日本屈指の巨木があつて、お大師さま命日の六月四日前後につばみがふくらみ始める。梅雨明けころ、五弁の白い花びらは一斉に開き、花は一日で散るので籠山の僧は掃除に追われる。ツバキ科ナツツバキ属の落葉高木だ。だがお釈迦さま涅槃の床に咲いたというインドのシヤラは全くの別もので、三月の満月の前後に花が開く。フタバガキ科の樹木は高さ十メートルを越し、木肌も葉も清楚に香る。花が房となり

第3回 沙羅 福田徳衍(文・写真)

(写真) 春祭りの女性の髪を飾る。沙羅はパーリー語でサーラ、サンスクリットでシャラ、ヒンディでシャルと呼んでいて、葉は稲の茎で綴り、食事の葉皿に、木は建築用材に使われる。花の寿命は短くわずかに二日。会社をさぼり、西ベンガルのシヤラの咲く森の農家の土間に泊まって花の咲くのをひたすら待った思い出がある。土間に流れ込んだ星月夜の微かな光と冷えた夜気がなつかしい。



『守るとは生まれ変わること』

なくてはいけない。そうでなければ、元が死んでしまう」というのが持論である。教職の頃は、子どもたちに書を通して「自己表現や、生きることの大切さを見いだす世界」を伝え続けてきた。「美しい書は、内面的が充実してこなければ書けるものではない。書は、人がいかに生きるかにもつながる」。



一隅会を組織し、月一回の定例会や、ご詠歌、勤行儀などさまざまな活動が行われている弥勒寺は、今、新緑と多種の草花が美しい。「いたずら書きをしてみましたら、偶然に出来上がったものです」と見せられたのが「墨仏」。墨から生まれた仏さまだから「墨仏」である。墨の性質を知り尽くした柴山師ならではの作品だ。墨の中から、仏さまを擦り出したともいえるか。

大学在学中に「十年後には海外で個展を開く」と決意し、念願通りハワイで書展を開いた。以来、中国・ベニス・ベルギー・フランスなど世界各地に迎えられ、今年ドイツで展覧会が予定されている。

虐待と虐殺

天台宗出版室長 工藤 秀和

鬼手仏心

衝撃だった。米軍によるイラク人捕虜虐待と、イスラム武装勢力に誘拐されたアメリカ人が虐殺されたことである。戦争とは狂気である。狂気の中で、虐殺や虐待が繰り返されてきたことを歴史は教えている。

第二次世界大戦でイギリス軍の捕虜になった会田雄次京都大学名誉教授が著した「アーロン収容所」を思い出した。

日本人の捕虜たちは英兵から殴られ、煙草を額で消され、小便を顔にかけられたりする

虐待を受けている。洗濯当番の捕虜は、女性兵士から下着を投げつけられて「洗え！」と命じられる。驚いたことに、最後の一枚を投げつけたため、女性兵士は全裸で捕虜の前に立っている。「彼女たちからすれば、植民地人や有色人種はあきらかに『人間』ではないのである。それは家畜に等しい」と会田氏は述べている。なるほど、牛や馬の前で恥じらう人はなかるう。

民間人を誘拐して、虐殺するという行為については、言うべき言葉もない。地獄絵図

のような様相である。両方に共通するのは、相手を人間ではないと思っていることだろう。だからどのような酷いこともできるのである。その差別意識が、虐待と虐殺の根底にあるように思う。

私たちの願いだ。この二つが無くなること、私たちが願う。

力見つけ! 縁信

書と墨仏の世界

「書を書くことは、経を読むことと同じ。宗教と芸術に共通するのは、祈りです。書は、よく伝統的な世界といわれますが『守る』ということは、常に新しく生れ変わるということでもあります。伝統を、そのまま再現するのでなく、現代に合うように表現し



書・画とも柴山師。(上)「掃いて掃いて掃きつつける」。(下)墨仏。青墨、茶墨、朱墨などが使われる。



鳥取・弥勒寺 柴山 宣慶 さん

鳥取県気高郡青谷の山間にある弥勒寺は、約三百年の歴史を有し、村落の中心として栄えてきた。住職の柴山宣慶師は、三十九年間教職に就いていたが、その一方で「書道界に柴山あり」といわれる書家である。号は抱海。戦後の書道が混乱期にある中、兄松島楠城の影響で書道を始め、斯界の泰斗と仰がれた手島右卿師に直接師事し、その愛弟子となった。

談話室

仏教の散歩道



ひろ さちや

作家。様々な問題をかき、仏教的な視点から、切実な口述を『心経』に受け、『新潮社』の『般若心経』を著した。

海外旅行をする日本人は、買物が大好きです。その一つの理由は、値切る楽しみがあるからでしょう。インドの土産物屋では、ちよつと値切れば、半値になることもあります。

だいたい昔の話ですが、インドでこんなことがありました。土産物屋で買物を終えた人が、次々にバスに帰ってきま

「あなたに納得して買ったのではないか。わたしが他の人にいくらで売ろうか、それはあなたに関係のないことだ」

「自灯明・法灯明」といった言葉です。「法」は仏教の教えをわ

他人がいくらで買おうか、わたしには関係のないことです。自分がその品物を欲しいと思

「お詫び」第14号の談話室「静かに座ってリフレッシュ」の本

【お詫び】第14号の談話室「静かに座ってリフレッシュ」の本

あなたの周りでの出来事、ご感想をお送り下さい。

FAXは、077-578-4814



東海教区・海岸寺 武者小路実篤展を開催

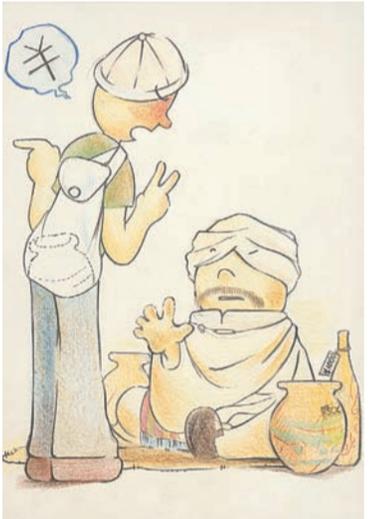
インド禅定林の支援にと

名古屋市緑区の海岸寺で、五月十六日から二十三日まで「武者小路実篤展」が開催された。

有島武郎らと文学雑誌「白樺」を創刊し人道主義、理想主義を掲げて、白樺派の中心

海岸寺では、千住博画伯の展覧会も開催しており、今後も折にふれて、このような企画を開催するとう。

オーブンの十六日と最終日の二十三日には、篤信氏による「祖父を語る」と題した講演も行われ、夏目漱石との交流や、波瀾万丈の生涯など



(カット・伊藤 梓)

Information

【大法会特別授戒会】 6月16日(水) 神奈川教区 鶴見会館 (横浜市)

【各地の行事】 6月14日(月) 延暦寺・書院 大僧正・権大僧正補任辞令親授式

総本山延暦寺御用達
清浄歓喜団 調進
創業元和3年(1617年)

永清堂

〒本店/京都市東山区祇園石段下南
605-電話/075-561-2181(代)
0074 FAX/075-541-1034番



A Story in the Tendai

風と水と悠久の流れの中で

沖縄・地藏院 金城 永眞 さん



本土から遊びに来ていた若者たちに「サトウキビは、もっと下の方を食べないとうまくないよ」と声をかけた。いかにも当世風の人たちとも、自然体でコミュニケーションする。右後に見える岩森はアマミチューの墓

仏と生きる

Vol.1.6

金城永眞は、天台宗が開かれて二百年が経過して以来、沖縄に初めて天台宗の寺を建てた僧である。この地には、今日まで天台宗は根付かなかった。徳川初期に薩摩の島津侯に征服され宗教弾圧が厳しかったせいと、古代から続く宗教文化が支配しているからだ。金城が「私の祖母はカミンチュでした」と語ったときに、私は（やはり）と思った。この人でなくては、沖縄で天台寺院を建立したり布教をするのは無理だった。

沖縄に初めての天台を

エマラルドグリーンとコバルト色の群青の水平線、コバルト色の空。この美（ちゆ）らさを沖縄の人は「海が咲く」という。今ならソテツの樹と県花である真つ赤なデイゴの花が南国情緒を満喫させてくれるだろう。

だが、観光ルートからはずれると、表情は一変し、疲れた白とグレイの貌をはつきりと見せ始める。それは、慶長十四年に島津侯に征服されて以来、過酷な搾取にあえぎ、明治維新以後も差別と貧困にさらされた島の貌であり、第二次大戦で、唯一の本土決戦地となり数多くの戦死者を出し、その後アメリカに支配され、今でも外国軍隊の基地を持つ街の貌である。

◎ 沖縄方言にたじろぐ ◎

ウチナーグチ

版室の大沢玄仁がハンドルを握り、カーナビを凝視しながら、目指すのはこの島にただ

宜野湾市を過ぎ、沖縄市を過ぎ、具志川市まで、ひたすら二時間走り続ける。金城の風貌は、眉が濃く、目はクリツとして、肌は浅黒く、いかにも沖縄の人という感じだった。南風が吹き抜ける本堂に通されての最初のひとことは「今、とどめのうがんから帰ったところですよ」だった。

「……」。あのお、それは、何ですか、と聞き返すしかない。漢字で書けば「止の御願」となる。葬儀のあと、墓の神に、これ以上不幸が出ないように墓の鍵を閉めてくれという儀式と説明してくれた。御願は、内地でいえば祈願にあたる。「沖縄でやれるか、せいふあうたまで、聞いてもらいまし

仏人の道をただひたすらに

ホトケンチュ

再び、あのお、それは何ですか？の世界である。「せいふあ」は齋場、うたき、は御嶽と書く。御嶽は琉球の創世主・アマミキヨが造った霊場で、沖縄各地に点在するが、齋場御嶽は、その最高位に位置する。私は、沖縄まで来るばりやってくる、何にも知らない無知を恥じるばかりである。漢字なら、おぼろに意味はわかるが、沖縄方言は内地人にはなかなか

決意を固めるために、彼は齋場御嶽に出かけて祈念したのだ。そこは、かつては、王といえども入ることを許され

◎ ぬう、ひえだてぬあが ◎

濱比嘉島の東方海岸に、琉球開闢伝説で知られるアマミチュー、シルミチューという男女二神が祀られているというので、案内してもらった。不思議な清潔感と静けさだった。内地とは別の神が降誕した地は、ただ、自然のあ

か理解できない。地藏院が建立された土地は、もとは金城家の田んぼだった。彼の一家は米を作って自給自足しながら、現金収入が必要な時には、石切などの作業をしたという。金城自身は、東京の大学で心理学修士課程を経て、江戸川区の教育研究所に勤務していた。異変がおこったのは、その時だった。

◎ 祖母は神人 ◎

カミンチュ

不登校のカウンセリングをしていたとき、自分にその子が憑いた、呪縛したように感じたという。その不快感が、僧侶の祈祷によって消滅したのである。科学では解決できないことがあることを実感した。その体験に抵抗はなかった。

金城は、憑依体験を通して西洋心理療法よりも、宗教こそが自分の進む道ではないのかと思つた。導いてくれる人もあり、天台宗で得度、中山玄晋比叡山弁天堂輪番(当時)の弟子となって行院を履修、天台宗僧侶となることを選んだのである。

金城は、憑依体験を通して西洋心理療法よりも、宗教こそが自分の進む道ではないのかと思つた。導いてくれる人もあり、天台宗で得度、中山玄晋比叡山弁天堂輪番(当時)の弟子となって行院を履修、天台宗僧侶となることを選んだのである。



沖縄の家の守り神「シーサー」

のはじめつから何も無い天地で、今更「物への執着を断て」「一切は空だ」なんていつたってシヤレにもならないのである」と、かつて島が置かれた貧しさについて痛烈な言い方をしている。金城も「内地じゃ、飲み屋に『琉球人お断り』と貼つてありましたからね」と言う。その言葉は宗教者らしく静かに語られるが、穏やかな分、内地から来た私の胸を鋭く刺すのである。

一隅を照らす

第2期 續天台宗全書 全十巻 予約購入募集中！ 天台宗特価

●前半一括前払い 100,000円 (5巻代金・消費税・送料込)
●各巻前払い 21,630円 (1冊代金・消費税・送料込)

ご購入には上のどちらかをお選び下さい。

入手困難な佛典の画期的翻刻印刷 天台宗典編纂所編 春秋社刊行

第1回配本 宗要光聚坊上 天台宗典編纂所 FAX 077-579-6639

ぜひ寺院に1セットお備え下さい

●お問い合わせ 天台宗典編纂所 電話 077-578-5190

第1期全15巻は完結終了しました。有り難うございました。



竜興寺にて花束を受ける渡邊座主

伝教大師入唐1200年記念日中合同法要を厳修

渡邊座主を名誉団長に2班に分かれて訪中

今回の日中合同法要は、平成十一年に天台山に華頂講寺が落慶した時、報恩訪中団が組織され、今回と同じく渡邊座主猥下、可明住持

日中合同法要

の導師によって執り行われて以来、五年ぶり。今回は天台山国清寺においての奉修となった。



天台宗では、平成十五年度から十九年度までを「開宗千二百年慶讃大法会期間」と掲げており、今回の記念訪中団も、その一環として計画されたもの。

座主猥下は十四日に日本を出発、到着した上海浦東空港では、はるばる天台山から駆けつけた監院・允観法師の出

日中黄金の絆を世界平和へ

伝教大師の入唐千二百年を記念する訪中団が、二班に分かれて天台山国清寺をはじめ、大師ゆかりの地を訪ねて、かつて祖師が歩まれた苦難の足跡を偲んだ。第一班は、渡邊恵進座主猥下を名誉団長に五月十五日から十九日の日程で訪中。今後お互いの絆を大切にしていけることを確認しあった。

同日は何思源処長、上虞市宗教局長、同仏教協会会長らが出迎え、森定慈芳延曆寺執行は「二年後に天台宗開宗千二百年の正当の年を迎えるにあたり、今回峰山道場をはじめ大師の関係霊蹟を巡る参拝は誠に意義深いものである」と挨拶。渡邊座主は持参した「忘己利他」の色紙を渡しながら「このご精神で暮らすな

らば、イラク戦争のような事態も起らないであろう」と述べた。夜には、後から参加した本団員と合流して、第一班総員九十一人による結団式が行われた。翌十六日に一行は、天台山国清寺に向かい、平成十一年に日本天台宗の協力で落慶した華頂講寺と天台大師のご廟である真覚寺に参拝した。出迎えた可明住持は「天台

迎えを、更に杭州では浙江省宗教局や旅游局要人らの熱烈な歓迎を受けた。今回の訪中団は、平成十一年の華頂講寺落慶以来。この五年間で中国は急速な発展を遂げており、ビルの建設ラッシュや高速道路の拡充整備などの変遷に、座主猥下も感歎されることしきりであった。十五日には、伝教大師が順眺阿闍梨より密教を伝授された霊蹟である峰山道場を参拝。峰山道場は、長らくその場所が特定できなかったが、平成六年に比叡山を訪れた浙江省旅游局の何思源処長の踏査によって判明した。座主猥下にとっては平成十一年に上虞市・浙江省旅游局が史跡保存に建立した「傳教大師最澄峰山受法靈迹碑」の除幕を行ってゆかりの地。

更に夜の歓迎会で西郊良光宗務総長が「日中両国の黄金の絆を大切に、この関係が永久に続くように」と述べる。渡邊座主始め参会の両国関係者の感激はひととき高まったようであった。翌十七日には訪中団のメインである「天台宗開宗千二百年慶讃大法会・傳教大師入唐千二百年記念日中合同法要」に臨み、日本側僧侶と中国側



五年ぶりの旧交を暖めあう渡邊座主と可明住持。日中友好の絆は更に固く。

僧侶の総出仕による合同法要が国清寺で厳修された。中国代表として允観国清寺監院が「八〇四年に伝教大師が入唐され、国清寺にて勉強されたあと、道邃和尚、行満座主より戒を授かり帰国。その後八〇六年に日本天台宗を開宗された。やがて天台教学は日本仏教の母となり、ひいては日本文化の源流となった。天台宗の歴史を振り返ると中日両国天台宗の祖師方が両国の友好、社会安定、世界平和に大きな努力と役割を果たされている。この法要を通じて、伝教大師と歴代祖師の偉大な精神がより一層広がり、次の世代に伝えられると強く信じている」と挨拶。これを受け、西郊宗務総長は日本天台宗を代表し「宗祖は、峰山道場においては順眺阿闍梨から密教の授法を受けられている。今回の訪中ですれらの霊蹟を偲び、あわせて日中両国の絆を深められることは誠に幸甚である。今後は、日中天台宗が更に絆を深くして、世界平和のために進んでまいりたい」と挨拶した。そして合同法要で日本側大導師である渡邊座主が「高祖智者大師天台満山一切の三宝末弟の懇情を哀愍して世界の平安と善隣の友好を永遠に保持せしめ給え」と表白を奏上。その後訪中団は臨海へ移動し、竜興寺でも「傳教大師入唐千二百年記念法要」を両国で勤めた。中国側は大雄宝殿にて、日本側は平成十二年度に伝教大師像と道邃和尚像を納めた極楽浄土院にて、それぞれ法要を行って、第一班の主要日程を終えた。

次世代に伝える精神

大師と伝教大師のご精神が、末永く伝えられ、世界平和と日中友好に寄与されんことを切に願うと共に、今回の日中合同法要が成功するように祈ります」と挨拶。これを受けて渡邊座主は「熱烈な歓迎に感謝します。私は、これまで四回訪中しましたが、可明住持との再会を心から嬉しく思います」と述べた。

と中日両国天台宗の祖師方が両国の友好、社会安定、世界平和に大きな努力と役割を果たされている。この法要を通じて、伝教大師と歴代祖師の偉大な精神がより一層広がり、次の世代に伝えられると強く信じている」と挨拶。これを受け、西郊宗務総長は日本天台宗を代表し「宗祖は、峰山道場においては順眺阿闍梨から密教の授法を受けられている。今回の訪中ですれらの霊蹟を偲び、あわせて日中両国の絆を深められることは誠に幸甚である。今後は、日中天台宗が更に絆を深くして、世界平和のために進んでまいりたい」と挨拶した。そして合同法要で日本側大導師である渡邊座主が「高祖智者大師天台満山一切の三宝末弟の懇情を哀愍して世界の平安と善隣の友好を永遠に保持せしめ給え」と表白を奏上。その後訪中団は臨海へ移動し、竜興寺でも「傳教大師入唐千二百年記念法要」を両国で勤めた。中国側は大雄宝殿にて、日本側は平成十二年度に伝教大師像と道邃和尚像を納めた極楽浄土院にて、それぞれ法要を行って、第一班の主要日程を終えた。



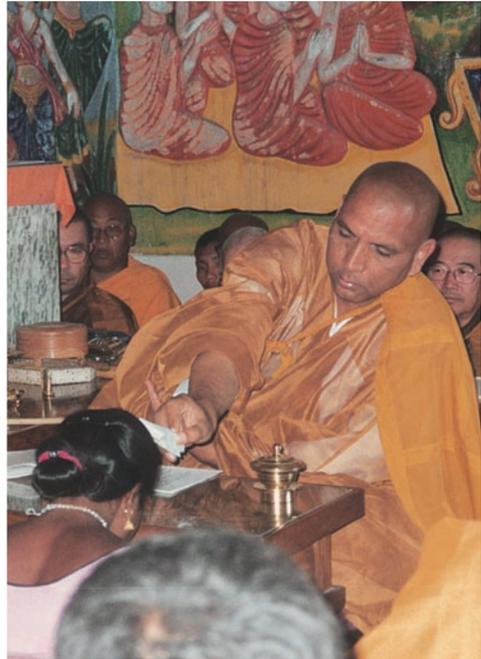
と中日両国天台宗の祖師方が両国の友好、社会安定、世界平和に大きな努力と役割を果たされている。この法要を通じて、伝教大師と歴代祖師の偉大な精神がより一層広がり、次の世代に伝えられると強く信じている」と挨拶。これを受け、西郊宗務総長は日本天台宗を代表し「宗祖は、峰山道場においては順眺阿闍梨から密教の授法を受けられている。今回の訪中ですれらの霊蹟を偲び、あわせて日中両国の絆を深められることは誠に幸甚である。今後は、日中天台宗が更に絆を深くして、世界平和のために進んでまいりたい」と挨拶した。そして合同法要で日本側大導師である渡邊座主が「高祖智者大師天台満山一切の三宝末弟の懇情を哀愍して世界の平安と善隣の友好を永遠に保持せしめ給え」と表白を奏上。その後訪中団は臨海へ移動し、竜興寺でも「傳教大師入唐千二百年記念法要」を両国で勤めた。中国側は大雄宝殿にて、日本側は平成十二年度に伝教大師像と道邃和尚像を納めた極楽浄土院にて、それぞれ法要を行って、第一班の主要日程を終えた。

第28回正力松太郎賞にサンガ師

外国人では初めての受賞

(財)全国青少年教化協議会が主催する今年度の第二十八回正力松太郎賞に、インド禅定林で活躍しているサンガラトナ・法天・マナケ住職が決まり、五月十二日に東京ドームで表彰式が行われた。外国籍の受賞者は初めて。

読売新聞社主の名を冠した同賞は、仏教精神に基づいた青少年の育成活動や、文化・社会活動を対象に、青少年の情操教育に功績があり、今後も活動が見込める個人・団体に贈られる。サンガ住職は、九才で来日



インド禅定林にて、今年度の得度式を行うサンガラトナ師

し、堀沢祖門師を師匠に十四年間比叡山で修行。天台宗の僧侶として、インドでは少数派である仏教の布教につと

め、インドのカースト制度に反対して「人間平等」を主張している。そのために「パンニャ・メッタ子どもの家」(孤

児院)を開設したり、無料図書館やインドの青少年育成に尽力している。

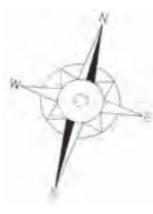
来日の度に、インドの現状や差別撤廃を訴えて、日印両国の仏教の架け橋としての役割を果たしていること、また両国の青少年を国際社会に貢献できるよう育成していることなどが評価されて、今回の受賞につながった。

また、天台宗にあつてはハワイ別院などに続いて、海外伝道の大きな一翼をになつており、今回の受賞でサンガ師の活動が日本の仏教界でも認められたと、宗内でも喜びの声が広がっている。

サンガ師は「国籍と肌の色のぞけば、中身は日本人です」が口癖。今回の受賞につ

コンパス

元天台宗宗務総長 杉谷義純



年金が急に大問題となった。制度改革のための国会での議論が伯仲したのではなく、年金未納が発覚して、官房長官や野党党首がドタバタと辞任したからだ。人の出処進退は難しいものだ。なかでも民主党の小沢さんの党首選辞退は全く不可解だった。その理由が年金任意加入時代の未加入が解つたから責任をとる、というものだからだ。

政治を志した若き日、年金制度の重要性を見ぬけず、政治家としての資質に欠けていたと、自分に愛想つ

真の改革者とはその時余り目立たないものだが、歴史が必ず正当な審判を下すのである。

それにしても年金とは一体何なんだろうか。保険なのか、預金なのか、税金なのか、その性格がつかみにくい。性格がつかみにくいといえ、ネンキンという生き物がある。『粘菌』と書くのだが、植物だか動物だかわからないのだ。この菌の研究をしても何の成果もあがらないので、そこそこの年金に頼らないと生活ができませんといわれてきたが、今注目されている。このネンキンは三十億年も生きてくるそうだ。人類など、たかだか百万年ぐらいに過ぎない。それなのに発達し

た頭脳のせいで、自分から環境を破壊したり核兵器を發明して、その存在が危ぶまれていく。また長寿を支えるために年金制度を考え出したが、これがうまくいかなかった。自分勝手だからだ。

ネンキンは危険にさらされると、お互いの細胞の壁がなくなつて、情報を共有してひとつになつて結束するといふ。そしていかなる環境も生きぬいてきたのである。まさに共創の世界だ。年金は単に自分の老後を安定させるだけのものではない。人生の総仕上げを、老若協力して創り上げる視点がない。それこそ利他の精神だ。年金はネンキンに学べか!

天台トピックス

- ◎第39回天台青少年比叡山の集い
 - リーダー研修会 6月12日～13日
 - 山上・いこいの村 6月15日～16日
 - 福岡
- ◎関信越地区協研修会
 - 6月15日～16日 茨城
 - ◎天台宗保護司会・民生・児童委員・主任児童委員会 合同研修会・総会 6月21日～22日 広島
 - ◎みちのく宗務連絡協議会 6月26日

ての受賞は、インドの子どもたちへの教育や、福祉活動が認められてのことであり、我々も誇りに思う。サンガ師は約二十二年に亘つてインドで活動しているが、インドでは彼のように活動する僧侶は珍しい。人々と共に積み重ねた菩薩行が認められたことは喜ばしい限りだ」と語っている。

今回の正力松太郎賞は、他に岩上寛了師(高野山真言宗)、フィールドンサイエティ森の子クラブが受賞し、二人、一団体に贈られた。

祝 新任職任命

【滋賀・大乗峰伊吹山寺】吉田慈順師【群馬・華藏寺】藤井祐順師【福島・成願寺】伊東寂元師【常楽院法流・法泉寺】稲沢法照師【埼玉・定宗寺】鶴岡敏昭師【九州西・観音寺】島田正和師【※延暦寺一山・戒藏院】坂本得雄師(※延暦寺一山条例・戒藏院規則により、4月1日付で和宗代表役員が住職に就任。)(平成16年4月21日～5月21日・法人部調べ)

示 寂

池ノ谷晃寛師 平成16年4月29日遷化。群馬教区清泉寺住職。5月30日本葬儀執行。

デスクから

教区出版通信員を委嘱した各位から、ぼつぼつニュースが入る。今月号は、兵庫教区の吉川廣隆師の授戒レポートと写真に負う所が大きい。深謝●今号から「鬼手仏心」の筆者が工藤秀和出版室長となる。時事から花鳥風月までの幅広い論説に期待●一泊二日の沖縄取材から戻る。参考資料を求めに入つた那覇書店の郷土コーナーは、戦争関係で埋められている。島の三分の

二が亡くなつたと伝えられる沖縄では、戦争は未だに過去のものではない。立ちすくむ思いである。平和ボケの自分を自覚する●中古カメラ屋で、以前から欲しかったレンズが格安で出ているのを発見。店員から「これは、もう二度と出ませんよ」と強く勧められる。ウーム、予算請求すれば通るだろうが、その間に売れてしまふかもしれぬ。エイヤッで買つてしまった。これで今月は、ビールを我慢せねば。五面の「金城さんと若者たち」が処女撮影である。

心のつどい in 比叡山

千二百年の歴史を持つ日本仏教の母なる比叡山で、「自己再発見」をテーマに『心のつどい in 比叡山』を開催します。坐禅や写経、清掃作業などを通じて、今ある自分を静かに見つめ、身も心もリフレッシュしましょう。皆さまふるってご参加下さい。

講演 日高正宏先生 (神戸学院大学教授・臨床心理士)
酒井雄哉大阿闍梨 (千日回峰行満行二回)

- ◎開催日 9月15日(水) 12:00～9月16日(木) 13:00まで 1泊2日
- ◎会場 比叡山西塔・居士林
- ◎参加費 一般・3500円 推進会員・3000円
- ◎定員 40名(先着順) ※軽い運動が可能な方
- ◎締切 8月2日(月)
- ◎申し込み・問い合わせ先
〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2 一隅を照らす運動総本部
FAX 077-579-2516・E-mail ichigu@tendai.or.jp
http://www.tendai.or.jp/ichigu/

※参加ご希望の方は、住所(郵便番号)・氏名(フリガナ)・性別・生年月日を明記の上、ハガキ、FAX、Eメールでお申し込み下さい。

四月二十九日、埼玉本部(森田幸雄本部長)では、さいたま市浦和区「さいたま市民会館うらわ」を会場に、第三十八回埼玉本部一隅を照らす運動推進大会が約五百名の参加者を得て盛大に開催された。

第一部では、本部で新たに制作した勤行儀を用いて参加者全員による法楽、福聚教会会員による奉詠、永年一隅を照らす運動を実践された篤行者四名の表彰が行われ、その後、毎年八月に行われる『天台青少年比叡山の集い』に参加した田中八千代さんが集いの体験発表を行った(写真)。

五百名が参加、盛大に開催

埼玉本部一隅を照らす運動推進大会



住職 赤松光真師
「心を訪ねて」

また、この一年間各支部で集められた慈愛募金二百万円が、パンニャ・メッタ図書館建設支援金として、さらに当日会場で集められた二十七万三千三十一円が、地球救援募金として壬生照道総本部長に寄託された。

第二部では、延暦寺一山金台院住職赤松光真師を講師に「二隅運動の原点を訪ねて」と題した講演が行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

四月二十九日、浄土寺支部発足二十五周年記念一隅大会が開催され、百五十余名の檀信徒が参加した。

この大会は、支部発足以来毎年行われており、今大会では、浄土寺名誉住職片岡観道師による「一隅を照らす運動の歴史について」の法話に、参加者は運動の大切さを再確認していた。

また、平成十三年には写経会発足十五周年を記念して、延命地藏尊並びに納経蔵が建立され、浄土寺支部では、写経会や大会などさまざまな活動が活発に行われている。

インドで私も考えた

③

一隅を照らす運動総本部長

壬生 照道

インドでは、食べる物には不自由しなかった。もともと好き嫌いはない。ただ、メニューは一種類しかない。「カレー」である。豆料理といえば、豆のカレー、鶏肉料理といえば、鶏肉のカレーである。パサパサの米にカレーをかけて手で食べ

『カレーを食べる』



る。手で丸めて口に運ぶのが現地式である。やってみたら、案外これがむずかしい。口に入れるまでに、米がポロポロとこぼれてしまう。丸く握った米を親指の背で押し込むのだが、何度やってもうまくいかない。あきらめてスプーンで食べることにした。

以前、モンゴルを訪れたとき、ゲル(モンゴルの組み立て式住居)での生活が気に入り、欲しいと思っていたら、近所のモンゴルの人が、ベッドからテーブル、ストーブまで一式現地から送ってくれた。特別デカイもので、友人達と組み立てると、直径九メ

ートル、高さは五メートルにもなってしまった。中心となる柱を四本立て、放射線状に細い棒を組み、格子になった木を取り付けて廻りを布と厚手のフェルトで覆う。中は外に広く、ゆったり二十人はいれる。日本にいなながらモンゴルの気分が味わえる。

私の外国理解は、いつもこんな具合だ。現地を歩き、現地式で生活すれば、いろんなものが見えてくる。学ぶことも多い。インドを訪れて私も考えた。この国は、貧富の差が激しい。一方では財力があり、核兵器もある、最先端技術など、目を見張る国力がある。もう一方には、飢えた人や乞食がいる。それはカースト制度の上になり立っている。この貧富の差によって、この国は滅びることなく、続いてきたのだ。そして、その差の上は今後もまた、繁栄を続けているのだらうと思うと憂鬱になる。しかし、カーストという差

別の仕組みの中で、最下層におかれた人々は、自然に対する畏敬の念を持ち、人とのつながりの大切さを知り、必要であるものこそでないものを見極めていくことを知った。長い間、差別され搾取されてきた人々は、その差別を憎むがゆえに、お互いが連帯して非常にたくましい。

差別や身分制度というものはない。一日も早く解消されねばならない。しかし、どんな時代でもどんな時代でも、どんな境遇でも、人である限り、喜びと悲しみはついてまわる。彼らは、穏やかに流れる時間の中で、モノや科学・技術に振り回される代わりに、生きることに喜び、幸せを感じることを知っている。文明が発達した現代から見れば、封建時代の一般の民衆は不幸だといわれた。けれどもそれぞれの地位の中で、それぞれの生活があり、それぞれが幸せを見つけていたのではなかったか。

(聞き手・倉田紀美子)

西川きよし講演会 「一隅を照らす」



3期18年に渡り参議院議員としてライフワークの福祉活動に全力を傾けて来られました。彼の目指す福祉活動こそが日頃陽のあたらぬ人々の隅々まで目を向けようという活動であります。

講演会日時：平成16年10月20日(水) 11時～12時
場所：京都国際会館イベントホール
講演会協賛：天台宗一隅を照らす運動総本部 比叡山延暦寺
旅行主催：名鉄観光サービス(株) 西日本支社 担当：古川
申込み・問合せ 電話 06-6245-4440

(お願い) バス旅行として企画設定いたしておりますので入場券だけの取扱はしておりません。詳しくは名鉄観光までお問合せください。